



開二小だより

Vol. 219 第12号
令和3年3月1日発行
練馬区立開進第二小学校
校長 長谷川 修
www.kaishin2-e.nerima-tky.ed.jp

～ 子供たちに拍手～

校長 長谷川 修

とうとう、この一年間を振り返る時期となりました。ちょうど一年前、2月の末に政府による緊急事態宣言が発令され、突然学校が休業になりました。子供たちは3月末の終業式、卒業式・修了式、4月初めの始業式・入学式の日以外は5月末までの3か月を家で過ごすことになりました。戦時中ですら子供たちは疎開をしながら学校に通うことができました。子供たちはもちろん、ご家庭も私たち教職員にとっても未だ経験したことのないことでした。本来でしたら満開の桜のもと、晴れ晴れしくスタートする年度初めをどれだけ不安な気持ちで過ごしたことでしょう。6月から分散登校という形で学校が始まったときの子供たちの表情の乏しい、緊張した姿は今でも忘れられません。

しかし、そのような状況の中でも、子供たちは家庭で学校から持ち帰った教科ごとの課題にしっかりと取り組み、学校のスタートを待つことができました。各ご家庭の並々ならぬご苦労があつてのことだと思います。

学校が再開されても例年行っていたあらゆる行事ができなくなり、教室でも友達と机を合わせることもなく、常に口はマスクで覆われ、子供たちはどれだけ不自由であったことでしょう。給食時間に全員が前を向いて無言で食べている光景は今となっては慣れましたが、今までの学校生活では考えられないものでした。

学校はまず、子供たちの学習の保証を第一に考えました。3か月のブランクをどうやってリカバリーしていくかが最大の課題でした。次に子供たちの体力の回復も大切な要因でした。学校最大の行事である運動会を全面中止したのもこの二つの理由があ

りました。運動会を楽しみにされていた保護者の皆様には大変申し訳なく思いましたが、それほど思い切った対応をせざるを得ない状況であったと考えています。

おかげさまで学校再開後の8か月、子供たちは驚くべき吸収力で学習内容を身に付け、3か月のブランクを見事に埋めることができました。

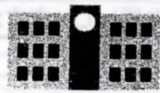
今現在の開二小の子供たちをみると、この状況の中でなんと逞しく成長したことかと驚きます。スケジュールの変更が度重なる中での柔軟な対応力、日々の生活の中で自分を高めようとするための目標設定力、そして、なんとといってもこの一年、子供たちに一番付いた力は自主・自立の力ではなかったでしょうか。個別の学習、個別の活動を余儀なくされた中で、自分の力で何とかしていく力が自然とついてきています。

改めて本年度の子供たちの様子を見ると多少大げさかもしれませんが無限の可能性を感じます。今年この状況で発揮できた力は必ず来年度に十分に生かされることと思います。

私は今年の開二小の子供たちの頑張りに大きな拍手を贈ります。

—お知らせ—

- ①今年度同様、来年度に向けて全学年での学級編成替えを行います。
- ②保護者の方のご要望もあり、全学年にて普段の授業の様子とクラス集合写真を業者に依頼し撮影し、販売いたします。
- ③春休みは卒業生を除く全児童のタブレットパソコンを家庭保管といたします。使用のルールをきちんと守って各自で活用させてください。



3月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 朝会	2 クラス	3 朝学習	4 クラブ発表会	5 集会	6
	安全指導 美化の日			㊦①② 保護者会	㊦遠足	
7	8 朝会	9 クラス	10 朝学習	11 読書	12 クラス	13
	委員会予備日	㊦①お別れ 演奏会	㊦②お別れ 演奏会 子ども会	㊦③お別れ 演奏会	㊦ミニ運動会	
14	15 朝会	16 クラス	17 朝学習	18 読書	19 クラス	20
	クラブ予備日	大掃除 美化の日 ㊦④お別れ演奏会	㊦⑤㊦⑥お別れ 演奏会			春分の日
21	22 朝会	23 クラス	24	25	26	27
		水曜時程 給食終了	修了式	卒業式	春季休業開始	
28						
	①②③④⑤⑥はそれ ぞれ学年を表しま す。㊦はあおぎり学 級を表します。		※予告なしの避難訓練があります。			

春休みの過ごし方

開二小生活指導部

いよいよ春休みが始まります。卒業や進級を迎える春休みは、事件事故の多い休みでもあります。そこで、ご家庭で確認してもらいたいことをいくつか挙げさせていただきます。

- ・出かける時は防犯ブザーを持ち、行き先や遊ぶ友達、帰宅時間を伝えること。
- ・遊び場所を考えて遊ぶこと。
- ・お金やゲームなど大切なものを持って遊びにいかないこと。

以上のことを確認していただき、安全で楽しい春休みをお過ごしください。

学校評価アンケートの集計結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。ご協力に感謝申し上げます。
 今後は、この結果を参考に、課題意識をもって改善に取り組み、本校の教育活動の充実に努めてまいります。

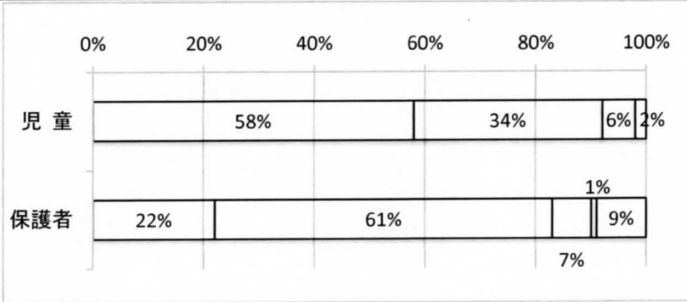
児童 ア とてもそう思う イ そう思う ウ あまり思わない エ 思わない
 保護者 ア とてもそう思う イ そう思う ウ あまり思わない エ 思わない オ よく分からない

1 児童 先生は、自分をもっと知りたいと思うような授業をしてくれていますか。
 保護者 学校は子供に学ぶ楽しさを感じさせる学習指導をしている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	262	154	26	7	
	58%	34%	6%	2%	
保護者	81	223	27	4	32
	22%	61%	7%	1%	9%

児童 ア・イの合計 92%

保護者 ア・イの合計 83%

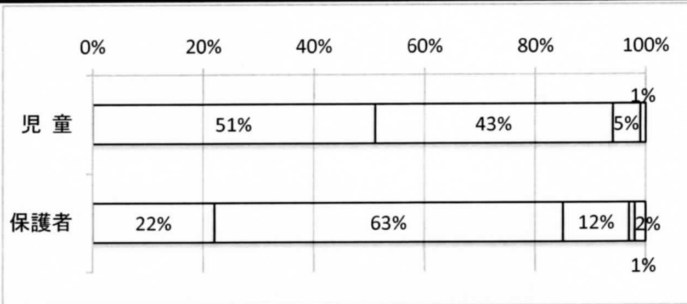


2 児童 授業では、大事なことは何かを考えながら学習していますか。
 保護者 子供は学習内容を理解している。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	229	191	24	5	
	51%	43%	5%	1%	
保護者	82	230	45	3	7
	22%	63%	12%	1%	2%

児童 ア・イの合計 94%

保護者 ア・イの合計 85%

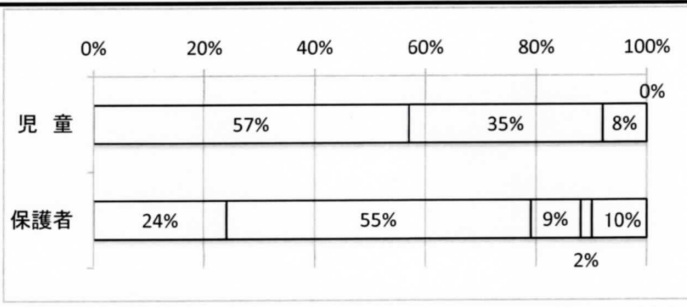


3 児童 授業では、友達や先生の話をよく聞き、自分の考えをまとめていますか。
 保護者 子供は授業で発表したり聞き合ったりすることを通して考えを深めている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	254	156	35	4	
	57%	35%	8%	0%	
保護者	88	203	32	7	37
	24%	55%	9%	2%	10%

児童 ア・イの合計 92%

保護者 ア・イの合計 79%

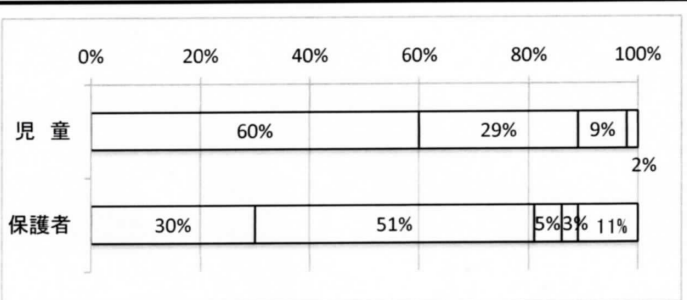


4 児童 行事には、めあてをもって取り組んでいますか。
 保護者 子供は行事にめあてをもって取り組んでいる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	270	130	38	11	
	60%	29%	9%	2%	
保護者	110	186	18	11	42
	30%	51%	5%	3%	11%

児童 ア・イの合計 89%

保護者 ア・イの合計 81%

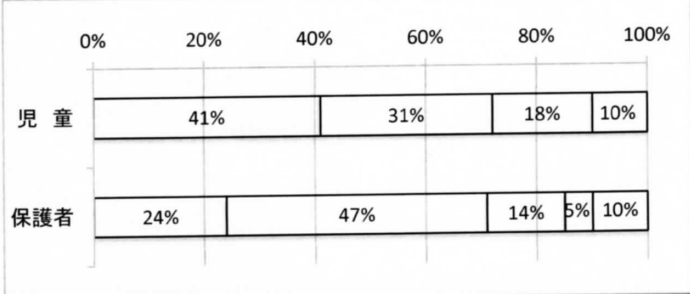


5 児童 委員会やふれあい班では、全体のことを考えて自分の力を発揮していますか。
 保護者 子供は他の学年の児童との交流を通して成長している。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	182	138	83	46	
	41%	31%	18%	10%	
保護者	88	174	51	18	36
	24%	47%	14%	5%	10%

児童ア・イの合計 72%

保護者ア・イの合計 71%

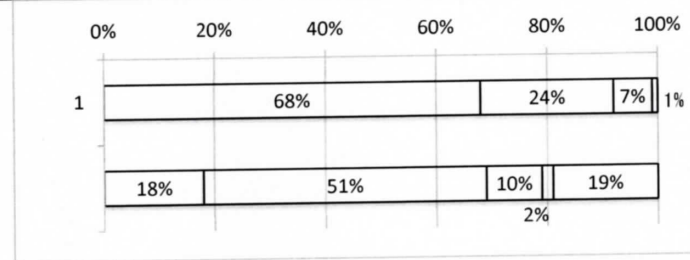


6 児童 道徳の授業では、友達の意見や先生の話聞いて自分の考えをもつことができましたか。
 保護者 子供は道徳の授業を通して考えを深めている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	306	108	30	5	
	68%	24%	7%	1%	
保護者	63	187	38	7	72
	18%	51%	10%	2%	19%

児童ア・イの合計 92%

保護者ア・イの合計 69%

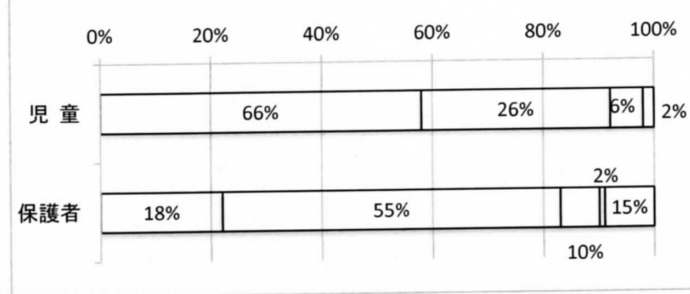


7 児童 先生は自分の得意、不得意を分かってくれましたか。
 保護者 学校は、子供の実態に合った指導の仕方を考えている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	296	116	27	10	
	66%	26%	6%	2%	
保護者	67	202	37	8	53
	18%	55%	10%	2%	15%

児童ア・イの合計 88%

保護者ア・イの合計 73%

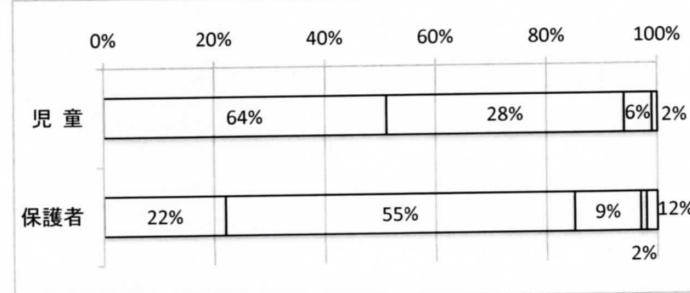


8 児童 先生は自分の話や思いを聞いてくれましたか。
 保護者 学校は、子供や保護者の思いに耳を傾けている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	287	124	29	9	
	64%	28%	6%	2%	
保護者	79	201	35	7	45
	22%	55%	9%	2%	12%

児童ア・イの合計 92%

保護者ア・イの合計 77%



9 児童 学校で、自分は人のために役立っていると思いますか。
 保護者 子供は学校生活を通して自信や意欲を高めている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
児童	187	165	62	35	
	41%	37%	14%	8%	
保護者	96	206	38	5	22
	27%	56%	10%	1%	6%

児童ア・イの合計 78%

保護者ア・イの合計 83%

